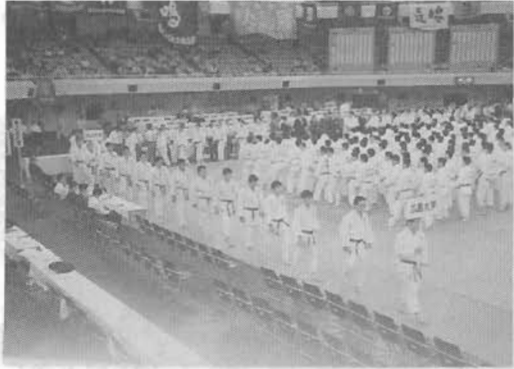


柔道部物語

工学部学生 和泉康平



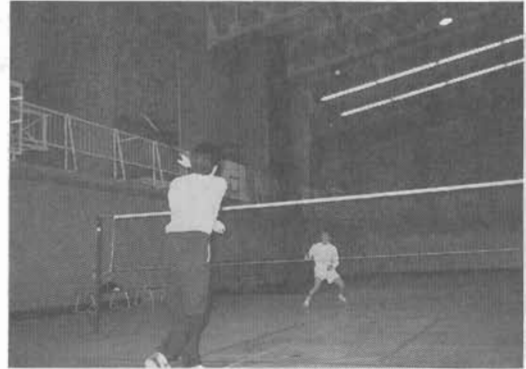
こんにちは柔道部です。我が柔道部は2年生9人、3年生7人、4年生4人に新入生が加わり、新年度を向かえまた新たな気持ちで日々練習に励んでおります。

昨年は中・四国学生柔道大会において3位に入賞し、我が部としては15年ぶりに全日本学生柔道優勝大会に出場することができました。

現在、西条移転に伴い部員がそろって練習できるのは週に1、2回ぐらいで、しかも西条には武道系クラブのための体育館、トレーニング場の建設予定もないという劣悪な環境にもめげず、今年も二年連続の全国大会出場目指してがんばっています。部内の雰囲気も先輩、後輩がお互いに慕い、慕われる仲で、活動状況もみんな楽しく柔道をやっているという感じで、非常によい状態にあります。新入生のみなさん、今からでもおそくないので入部してください。私たちはやらされて柔道をやってきたのではなく、柔道を好きでやってきました。大学から始めようという人も一度道場に来てみてください。

2部サークル連合バドミントン同好会

経済学部学生 木村達志



2部サークル連合バドミントン同好会は、その名称どおり、1部(昼間)の部員1名を除いては、すべて2部(夜間)の部員です。この2部の部員の中には、下は19歳から上は働き盛りのお父さんまで、バラエティーに富んだ構成ゆえに、1部のクラブでは味わえない雰囲気があります。先輩・後輩といった体育会系クラブ独特の堅苦しさはほとんどなく、また、部ではなく同好会なので、楽しくバドミントンをする、ということに重点をおいているため、主に試合形式の練習ばかりしています。更に、ほとんどの部員が仕事をもっているため、自分が練習をしたい時にくればよく、疲れている時は家に帰ってゆっくり休み、また試験期間中は原則としてクラブを休みにしています。なんとルーズなクラブだろうと思われるかもしれませんが、まさにその通りです。しかし、クラブの規則、体育館の使用規則に対しては、厳しく指導しています。

私にとって2部のクラブというものは、仕事や勉強の疲れを忘れさせてくれるような、スポーツを楽しむ場所であるべきだと考えています。